

コミ協の活動状況

総務部会 村木正徳

23・3・10発行のコミ協だよりに引き続きその後の活動状況を報告いたします。

①2月25日コミ協に対する補助金制度の改正及び(仮称)まちづくりセンターに係る説明会――運営助成金20万円に増額、コミ協事業補助金と地域活動費補助金を一本化し、一事業につき20万円の地域活動補助金が決まる(鈴木会長・村木出席)。

②3月4日新潟島のコミ協と市議との意見交換会(鈴木喬・村木出席)。

③3月13日自主防災研修会開催――出席者122名(懇親会94名)大震災直後の研修会だったが、大変意義のある開催だった。

④3月24日中央区自治協議会に鈴木会長が出席2期4年の任期を務め、今回を最後に自治協議会委員を退任、新委員は鈴木喬会計が就任した。

⑤3月26日緊急役員会を開催し、3・11東日本大震災の募金活動を討議する。――早急に各世帯500円の義援金を募集する事に決定した。

⑥4月27日東日本大震災義援金 1,109,900円を横七郵便局より日本赤十字社東北関東



大震災義援金宛に振り込み御見舞いをした。

⑦4月27日第1回中央区自治協議会に出席する。(今回より鈴木喬自治協議会委員が出席)

⑧6月5日コミ協合同総会を開催――出席者62名今回の開催で第5回を数え、会の運びもスムーズに成って来た様に思う。

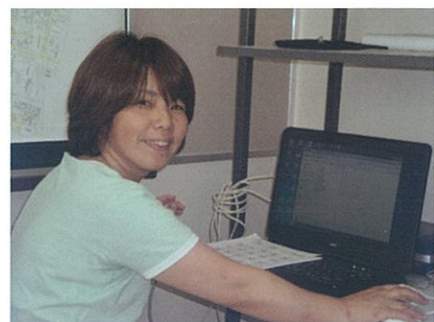
⑨7月11日役員会に於いてコミ協の事務局員に地域教育コーディネーターの小島良子さんを推薦し全員の承認を得た。

⑩7月30日防犯協会による安全パトロールを実施(参加者46名)恒例のパトロールで地域の絆も深まり、意義ある開催だったと思う。

⑪8月30・31・9月1・2・12交安協による交通安全街頭指導を実施――学校の始業に合わせて4月6・7・8・11にも実施している。

⑫9月4日コミ協懇談会を開催(参加者40名)第7回の懇談会で初めて懇親会を併せて開催した。

総務部会



コミ協に新事務員就任

この度永年の懸案でしたコミ協の事務員として、入舟小学校・地域教育コーディネーターの小島良子さんに引き受けて頂きました。

コミ協は立ち上げからこれまで高齢のスタッフで凌いで来ましたが、これからは若い力を導入して活発な組織に改良して行きたいものです。どうぞ皆様のお力をお貸しください。よろしく御願い致します。

編集後記

☆本年度の1号目です。毎年2号の刊行を継続したいと思っております。皆様のご協力を期待します。
☆今年の東日本大震災で私共も大きな影響を受けています。特に自主防災会は津波からの避難体制を真剣に検討しています。行政の津波想定に呼応

した私共の避難計画の策定を急ぎたいと思っております。実効性の高い避難訓練の繰り返しは被害を最小限に出来るということが大震災からの教訓です。

編集委員;鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫
村木正徳、明間博隆、古寺昭治

入舟 コミ協だより

第8号
発行: '11.10.1
発行所:入舟小学校区
コミュニティ協議会
責任者:総務部会 村木正徳
TEL 222-3884



防災訓練より

自主防災会 明間 博隆

6月26日の防災訓練に935名の参加を頂き有難うございました。当日の講師の福和先生のお話の中での注目された事を取り上げ今後の災害時・訓練に参考に出来ればと考えています。

- 地震が起きたら、津波が来ると考えた方が良い。
- 1. 事前に自治・町内会で災害時での一時避難場所近くのビル(3階以上)の持ち主と話あって、お願いをして置く必要があります。
- 2. 安全な避難道の確保を事前に調べて置き、会員に周知して置く事が大事です。
- 3. 津波は何度も押し寄せてきます。津波が落ち

着いたら、安否確認をして頂き予め決めて置いた避難場所へ移動をしてください。

- 4. 各自治・町内会で最終避難場所と決めてある場所は情報の集約場所として定めるものとする。

★ 以上の事柄を各自治・町内会で会員の皆様方に徹底周知をお願い申し上げます。

本年度、自主防災ではTシャツと帽子を作りました。各自治・町内会に3組を渡し、訓練当日には会長・防災リーダー・婦人部員に着用して頂き防災訓練に初披露をいたしました。その結果参加者より志気が揚がって良かったとの報告があり、今後も防災に関するイベントには着用して行く所存です。

自主防災会



保護者・地域とともに学び合う 人権教育

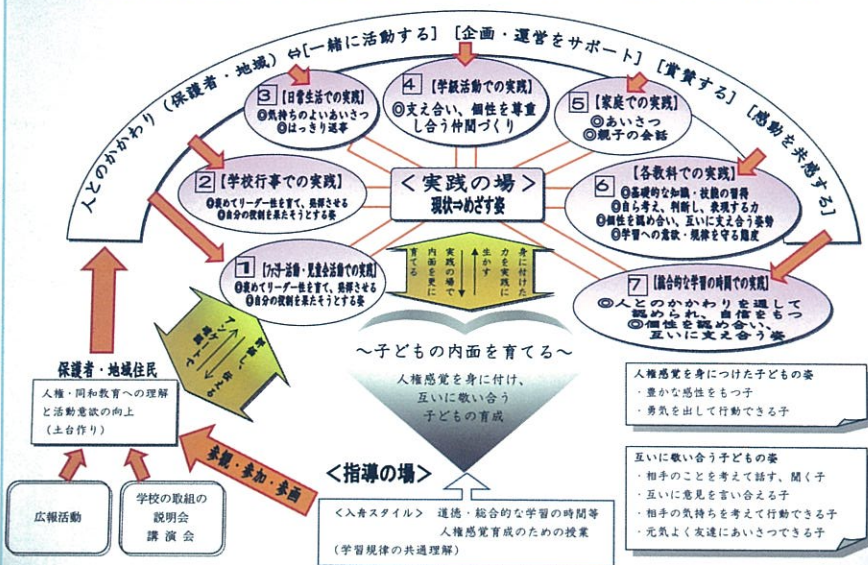
入舟小学校 校長 梅津玲子

平成22・23年度、当校は文部科学省の人権教育研究指定校として、同和教育を中核とした人権教育の研究をすすめています。来たる11月22日(火)には、『人権教育研究会』を開催し、研究成果を多くの方々からみてもらう予定です。

研究テーマは『人とのかかわりを核に互いに敬い合う心を育てるー学・社・民の融合による人づくり、学校づくり、地域づくりを通してー(教師が変わる 学校が変わる 地域が変わる 保護者が変わる 子どもが変わる)』です。

「孤独」「無縁」「ひきこもり」「自己中心」「虐待」「教育力低下」等々、現代社会の問題は深刻になるばかり。これらの問題を解決していくためには、まず、自分や他人を大切に思う心を持ち、人とのつながりを多く作ることです。私たちはこの研究を通して、子ども

入舟小学校 人権教育、同和教育のグランドデザイン



たちに生きて行く上で大切なことは何かを考えさせ、行動できる人間にしたいと考えています。

当校PTAは自主的に『人権学習会』を開催し、成果をあげています。また、校長とちょっとおしゃべり『入舟井戸端会議』も開催しています。どうぞ、気楽に学校へおいでください。お待ちしております。

入舟小

第7回コミ協懇談会開催

総務部会 村木正徳

去る9月4日(日)午後4時より北部コミュニティセンター4階小ホールに於いて開催されました。

第一回は平成20年8月30日でテーマは「ゴミ収集の現状と問題点」でした。それから年に2回ずつ開き、今回の第7回目では①学校編成について②大地震・津波対策についてをテーマにしました。

何れもこの問題は簡単にかたずく課題では有りませんが、皆で話し合い情報を共有して行く事が大切だと思います。

学校編成については少子化等の事情で児童の減少に伴い、隣接する学校との統合問題です。教育委員会より専門の担当者に現在の状況とこれからの推移を説明して頂き、将来の小中学校はどの様な編成が望ましいのかを話し合いました。新しい編成が具体化し、地域住民の合意を得て、新制度がスタートを



するまでは、色々な手段や手順が必要だと思えますが皆で考え話し合って行きましょう。

大地震・津波対策については、3月11日の東日本大震災の被害の状況を教訓にして、今後の防災対策をどの様に考えて行くべきかを、危機管理防災課の担当者に伺いました。予め質問書を提示しそれに答える形で説明を頂きました。

この問題は自主防災会を中心として、皆でよい知恵を出し合い取り組んで行きましょう。

総務部会



消防署附船出張所

所長 小野 博文

今年度からこの地区を担当いたします小野と申します。いつも防火等、消防行政にご協力いただきありがとうございます。昨年に引き続き、貴誌を通じて当所についてお知らせしたいと思います。当所は特別消火隊という新潟市に2隊しかない部署であり、一般の火災をはじめ大規模建物や災害弱者収容施設での火災及び特殊な災害には新潟市内全域に出動します。

また、東日本大震災にも派遣され、約2ヶ月間交代で宮城県石巻市での活動を行ってきました。さて、最近の消防の動きですが、住宅用火災警報器の設置についての設置状況を再調査しているところです。もし職員が伺いましたら設置の有無をお伝え願います。



再調査はまだ一部ですが、設置率はかなり上昇しています。また、消防で販売はしていませんが、取付けについては連絡を頂ければ職員が伺いますので、是非、あなたの命を守る住宅用火災警報機の設置をお願いします。最後に、地震や豪雨等自然災害が近頃多く発生しています。「備えあれば憂いなし」。準備をするとともに、貴コミ協の連携に期待を寄せ、寄稿を締めくくりたいと思います。

消防署附船出張所

非常・災害時に役立つグッズ

安全環境部会 高橋 誠一

去る7月30日夏季コミ協同安全パトロールを実施いたしました。当日46名が参加され、今回初めて1グループ4～5名に分かれ、豊照・附船交番の皆さんと2つのコースを巡視いたしました。

少人数で廻ると列の道路へのはみ出しやリーダーの声が聞こえないなどの問題が解消され、スムーズで内容の濃い巡視ができるようになりました。



当会は毎回非常・災害時に役立つグッズを参加者に差し上げています。今回は救急ホイッスルそして暗闇で役立つカード式LEDライトでした。また緊急時役立つ充電式LEDライトや水で発電する電池、ソーラー発電機など紹介しました。

当会はささやかではありますが、このようなグッズをお配りすることにより、緊急時役立てていただければと思っています。

安全環境部会